

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「実践的食育」

<テーマの設定理由>（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色 など）

園近隣に大きな公園があることや地域の方とのかかわりが深く、毎年ブルーベリー摘みやじゃがいも堀りなど食に触れる体験を多く取り入れている。園でも乳児クラスから野菜の栽培を積極的に行っている。また、栄養士と保育士、職員間の結びつきが強いため食育活動にも力を入れている。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数						
	実施日	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	地域
①	2025.12.15				12			
②	2025.12.26				12	11	6	
③								
④								
⑤								

活動内容
1 2 月 1 5 日、ポップコーン屋さんの開催の為、看板・広告・味の表示板を 4 歳児で作成した。
1 2 月 2 6 日、ベジリンク様から購入したポップコーンキットを使ってポップコーンづくりのクッキングを行った。
4・5 歳児でポップコーンの粒を 1 つ 1 つはがし、油をひいたフライパンで熱した。しばらく待ち、ポンッと一つがはじけたところで蓋をして、みんなで音を聞いていった。ポンポンと連続で実がはじける音を、何度も聞くことができた。香ばしい香りもして、「いい匂い！」と目を輝かせる子どもたちだった。
味付けからは、4 歳児が行った。ココアパウダー・カレー粉・砂糖を用意し、3 種類の味付けをチームに分かれて進めていった。
味付けを終えて、カップに入れ替えると、開店。3 歳児クラスと 5 歳児クラスを招いて、行った。「いらっしゃいませ」「どの味にしますか」「ありがとうございます」と、子ども間で沢山のコミュニケーションが生まれていた。

- ・ 活動のために準備した素材や道具、環境の設定
（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した 素材や道具）
- ・ 活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。
（活動の内容、活動中見られた子 ども の姿、教諭 との関わり 等）

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	○

次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。



活動の様子が分かる写真2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



3. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>	
6月から、4歳児クラスではとうもろこしを育てており、そのつながりで8月にはこのプログラムでとうもろこし狩りを行った。そこで、ポップコーンになれるとうもろこしの品種があることを知り、今回の活動の実施を決めた。8月から子どもに計画の旨を伝えていたため、準備からとても積極的に行う姿を見ることができて良かった。 また今回は、今までのクッキングにはなかった「他クラスにふるまう」体験もし、準備や知らせることの体験も行うことができたため、6月のにじいろマーケットからのつながりも作ることができてよかった。	

4. 今月の購入実績

注文日	項目	費用（税込）	購入方法
2025.02.19	ポップコーンキット	3,278	ベジリンク
		3,278	

記入日：	2025.12.27
記入者：	齋藤ふたば